



合唱コンクール 感動をありがとう！！

11月17日（木）、浪切ホールで「第24回合唱コンクール」を感動のなか、終えることができました。1学期の選曲から始まり、伴奏者は、夏休み中からピアノの練習をし、10月初めの文化祭終了後からは、各クラス、本格的に練習が始まって、とても長い長い取り組みの成果を発表してくれました。その間、どのクラスも、いろいろな葛藤、紆余曲折があったことでしょう。でも、そのなかで、お互いを理解しようと努力し、絆を深めていくなかで、歌のほうも、どんどん魂のはいったものになっていったように思います。

1年生は、初めて浪切ホールの舞台に立って、緊張したことでしょう。上級生の合唱を聞いてきくと、「来年は自分たちも」という思いを強くしたことだと思います。これが、「伝統」の持つ力なのです。2年生は、1年の時に比べ、男子の声がずいぶん大人の声に近づいて、歌に深みが出てきました。次は、自分たちが光陽中学校を背負い、後輩たちを引っ張っていく番。期待していますよ！そして、3年生は、本当にどのクラスも良い表情で、力の限りを出してくれました。何よりも練習の過程が素晴らしかった！ それがあるから、全員が「やり切った」という思いを持てたのだと思います。「グランプリ」や「最優秀賞」という賞は決まったけれど、それ以上のものをどのクラスも手に入れたと思います。そして、最後の「有志合唱」の感動は、忘れません。次は、卒業式に向かって、この学年の絆をさらにゆるぎのないものにしていきましょう。

保護者の皆さまには、平日のお忙しいなかを、本当にありがとうございました。名簿に印をつけていただいただけでも、のべ356名の保護者の方がお越しくださっていました。このような学校は、岸和田市内でも、なかなかありません。毎日の朝練の送り出しに始まり、家での練習の見守り、また、愚痴も聞いていただいていたからこそ、長丁場を耐えて頑張ってくれたのだと思います。そして、寒い中を早くから並んで開演を待っていた姿を目の当たりにしたからこそ、当日、さらに「頑張らねば！」と元気をいただいたのだと思います。アンケートにも、本当に多数の方がお答えくださり、温かいお言葉をたくさんいただきました。そのなかからいくつか、紹介させていただきます。本当にありがとうございました。



- 初めて観せていただきました。学年が上がるごとに団結していくのがわかりました。3年生の合唱は、ただただ感動で涙が出ました。ここまで育ててこられた保護者の方々へのご褒美だと思いました。（1年保護者）
- 今日を迎えるまで、クラスではもめ事もあったようで、毎日帰ってくると、グチも出ていましたが、今日の姿を見ると、クラスの皆が心を1つにして聞いている人に、先生方に声を届けようと一生懸命だったのが、とても感動しました。人とぶつかったり、意見を言い合って少しずつまとまっていく、そして成長していくのだと思うと、すべていい経験ですね。（2年保護者）
- 毎年、毎年、こんな素晴らしい歌を皆んなで団結して唱えるなんて（学校内での出来事が世間で色々物議を醸していますが・・・）光陽中学校の皆さんには、敬服すら覚えます。小さい事はいくつかありますが、生徒たちが自主的に進行運営していくストーリーは、教科書にない、人生に身のある教育であります。最後の3年生有志の合唱で男子の方で涙されている姿を見て、当方ももらい泣きました。大変な感動をありがとうございました。（2、3年保護者）
- 毎年、楽しみにしています。子どもたちの緊張、恥ずかしさ、意気込み、自信、パワー、色々な気持ちを感じます。3年生は、やっぱりすごいですね、最高学年の貫禄が伝わってきます。その歌声を聞いて、「うん！受験も大丈夫！」と確信し、わたしの不安も吹っ飛びました。合唱を聞いて、この歌詞のように、人や自分も大切にして一步一步ゆっくり大切な時間を過ごしてほしい。子どもたちがみんな幸せでありますように！そしてわたしも自分らしくこれからも良く、より良く共に成長していきたいです。（3年保護者）